

## [成果情報名] イチゴ炭そ病罹病拡大を防止する流水育苗ポット台の開発

[要約] 開発した流水育苗ポット台は、1トレイに12個の育苗ポットを設置し、おのこの独立した水路を通じ、各育苗ポットの株元に灌水するため、炭そ病への罹病拡大を防止できる。

[キーワード] イチゴ 炭そ病 育苗ポット台

[担当] 農林技術開発センター・干拓営農研究部門、農産園芸研究部門・野菜研究室、環境研究部門・病害虫研究室

[連絡先] 0957-35-1272

[区分] 総合・営農、野菜

[分類] 指導

---

### [背景・ねらい]

イチゴは本県の主要品目であり、生産量の増大を図ると共に、従来の「とよのか」から、より高品質な「さちのか」への品種転換を進めているところです。しかしながら、炭そ病に弱く、防除及び予防対策が緊急の課題となっています。

このため、最も感染しやすい育苗期間に、罹病拡大を防止するとともに省力化を図るための流水育苗ポット台の開発に取り組みます。

### [成果の内容・特徴]

1. 流水育苗ポット台は、1トレイに9センチポット12個設置し、育苗を行う(写真1)。
2. 灌水チューブより出た水は給水層に貯まるとともに、12個のポットそれぞれに独立した水路を通り株元へ灌水する(写真1, 2)。
3. 株元の培土に直接灌水するため葉に掛かることはなく、罹病株の拡大が予防される。罹病率は雨よけ無しでは、流水ポット台区、スプリンクラー区とも高くそれぞれ、80パーセント、75パーセントと非常に高い。雨よけ区は、スプリンクラー区の20.5パーセントに対し、流水育苗ポット台区は4.5パーセントと低い(表1)。

### [成果の活用面、留意点]

1. 育苗棚(キスパンドメタル)には8枚の育苗ポット台を設置し、96個の苗が育苗できる。このため標準(108個)より育苗面積が約1割広がる。
2. 育苗ポットがおのこの独立して設置するため、葉かぎ等の管理作業が比較的容易である。
3. 価格はトレイ1枚約400円である。このため、10アール当たり費用は約24万円(600枚)となる。
4. 流水育苗ポット台については特許出願中。

[具体的データ]

育苗の概要

育苗期間 2008年7月29日～9月22日

育苗管理 灌水1回/日 期間中薬剤無散布

調査区 (1) 雨よけ流水育苗ポット台 (2) 雨よけ無し流水育苗ポット台  
 (3) 雨よけスプリンクラー灌水 (4) 雨よけ無しスプリンクラー灌水

調査方法 12株に1株の割合で炭そ病菌接種株を設置し(4反復)、灌水による罹病割合を調査。

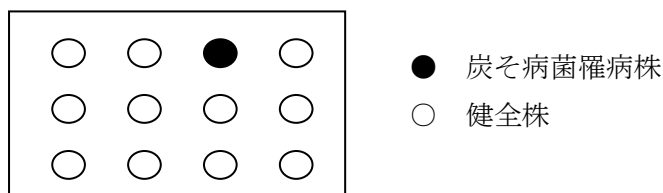


表1 罹病率

区 試 験 分	試験株数: (株)	罹病株数 (株)	発病割合 (%)	備 考
(1)雨よけ流水育苗ポット台	44	2	4.5	ランナーが隣接株に接触し罹病
(2) " 無し流水育苗ポット台	44	35	80.0	
(3)雨よけスプリンクラー灌水	44	9	20.5	
(4) " 無しスプリンクラー灌水	44	33	75.0	



写真1 流水育苗ポット台による育苗

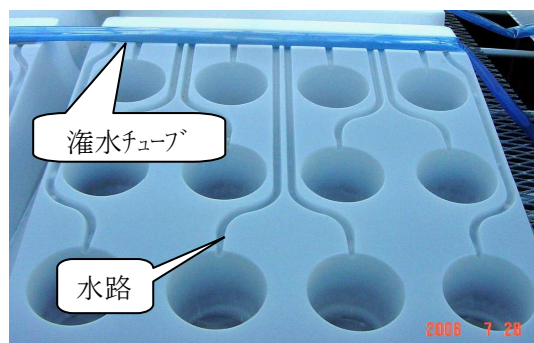


写真2 流水育苗ポット台

[その他]

研究課題名：施設野菜栽培環境改善技術の開発

予 算 区 分：県単

研 究 期 間：2008年度～

研究担当者：片岡正登、藤田晃久、内川敬介

発表論文等